

佐世保史談会 令和4年3月度

定例研究発表会及び図書配布のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

春暖の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

コロナ感染もやや落ち着きを見せ、なんとか定例研究発表会を再開できることになりました。

また、待望の『佐世保人物事典』も皆様のご協力のお陰で無事発刊でき、会員の皆様へ当日会場でお渡しする予定にしております。

皆様のご来場をお待ちしております。

なお、来場の際は感染防止のため、マスク着用と消毒、三密回避のご協力をお願いいたします。

日 時 令和4年3月26日(土) 13:00~15:45
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室
(公共交通機関でお越しください)
主 催 佐世保史談会
参加費用 200円(資料代)
問合わせ先 廣田 昌一 氏 TEL 32-4464

(1) 定例研究発表会 13:00~14:45 (質疑等含む)

主 題 平戸藩儒学者 楠本碩水の人脈
～ 回顧録『過庭餘聞』を基に～

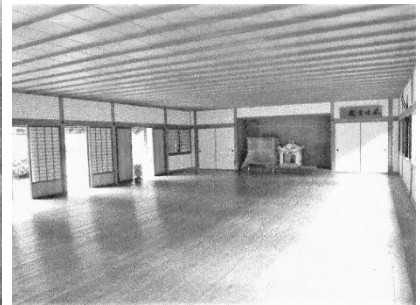
発表者 中田 敏子 (なかた としこ) 会員

楠本積水は、兄瑞山と共に著名な儒学者として幕末期の平戸藩に名を残し、針尾に現存する兄弟の生家及び墓地は、長崎県の文化財(史跡・記念物)に指定されている。しかし現在、楠本兄弟の存在についてはほとんど忘れ去られている。

回顧録『過庭餘聞』には、大橋訥庵など明治維新史に名を残す人物との交流が記され興味深い。明治となり針尾に隠棲、兄との私塾「鳳鳴書院」で全国からの門下生の教育に当たった。郷土の偉人、楠本碩水について紹介したい。



楠本碩水



鳳鳴書院

(2) 『人物事典』配布

15:00~16:00